

ウラジロフジウツギ

[木本] 《忌避》



崖に多い。



茎にも軟毛が密生する。葉裏はより白い。



花の付き方は藤に似る。

区別のポイント

葉は対生し、卵形～広披針形で先端は長く尾状に尖る。葉の表面に淡褐色の毛が密生する。日当たりのよい崖に多い。

形態 落葉低木。高さ1～1.5m。

分布 四国・九州・沖縄

名前の由来 花の付き方が藤に似ることから。

葉 〈全体〉卵形～広披針形で長さ5～15cm、幅2～6cm。

〈付き方〉対生。

〈葉柄〉長さ5～15mmで淡褐色の軟毛が密生する。

〈基部〉切形または広いくさび形。

〈葉先〉長く尾状に尖る。

〈縁〉全縁か少数の鋸歯。

備考 西部。

出典 14